

MEMS協議会(MEMS Industry Forum)の動き

1. 第16回国際マイクロマシン・ナノテクシンポジウム ～MEMS World～の開催

第16回国際マイクロマシン・ナノテクシンポジウムを、マイクロナノ2010の同時開催プログラムのひとつとして、2010年7月28日(水)東京ビッグサイト東5ホール内、特設会場Aにて開催しました。ほぼ満席となる聴講者に参加いただき、また、活発な質疑応答がありました。

今回は、展示会に回る時間的余裕を考慮して、従来全日を使ったプログラムとしていたのに対して、午後だけのプログラムとし、基調講演も含めて6講演としました。

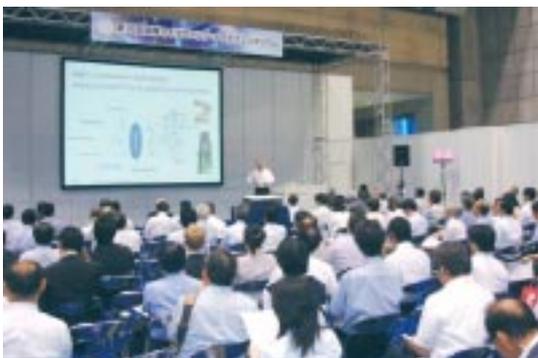
テーマは、「アンピエントデバイスが拓くグリーンイノベーション」としました。Gデバイス@BEANSとの関連性があり、注目度の高いセンサーネットワーク関連で海外の国際的な研究機関から最新成果を講演してもらいました。また、東大 情報理工学系研究科教授であり、MEMS協議会国際交流委員会委員長でもある、下山勲先生に基調講演をお願いしました。なお、従来同様、同時通訳サービスを提供しました。

基調講演以外の講演者の所属機関は、以下です。

- ・IMEC Holst Center (蘭)
- ・CEA-LETI (仏)
- ・Fraunhofer-ENAS (独)
- ・BSAC (米)
- ・Dalsa Semiconductor (加)

講演会に関するアンケートによると、講演内容については「ほぼ満足」「満足」が多く、一定の評価をもらえたと思います。一方、少ないながら、別室にてじっくり聞きたいとの要望が散見され、次回以降の課題と思われまます。

来年も皆様のご意見も参考にしながら、タイムリで充実したプログラムにしていきますので、ご期待ください。



IMEC研究者による講演

2. MEMS協議会フォーラムの開催

7月30日(金)には、MEMS協議会の諸活動の情報発信・意見交換の場であるMEMS協議会フォーラムをTIA-NMEMSシンポジウムPart IIとして開催しました。

今年のフォーラムは、「マイクロナノ研究開発拠点の実現に向けた布石」のサブタイトルのもとに、MEMS協議会における諸活動をTIA-NMEMSとの関連の中で紹介しました。産業動向や国際的な研究開発動向、国際標準化動向、それから、人材育成やファンドリーサービス、設計ツールMemsONEなど、MEMSの産業化促進を支える活動について報告しました。Part Iのシンポと合わせ、会場はほぼ満席で、MEMS産業、その研究開発動向、つくばの拠点化への関心の高さが窺えました。

3. 国際交流 Leti/Fraunhofer訪問 NanoKorea参加

国際交流の一環として、6月には仏LETI、独フラウンホーファー-ENASおよびIPMSを訪問し、意見交換してきました。また、8月の韓国におけるNanoKoreaにMMCとして出展し、交流を図ってきています。



NanoKorea会場

4. オープンイノベーションセンター検討会

MEMS協議会では今年度、オープンイノベーションセンター検討会を産業交流委員会の下に設置して、つくばナノテク拠点をどのように実現し、国内MEMS産業の国際競争力を強化するか、議論を始めています。この活動は、つくばナノテク拠点における運営会議に連なるTIA-NMEMSワーキンググループと兼ねることになり、検討会における議論がそのまま運営会議に報告される仕組みになっています。

7月の第1回検討会、その後の幹事会により、拠点実現に対する具体的な課題などが見えてきました。今後も精力的に検討を重ね、つくばナノテク拠点の本格的な実現に貢献する予定です。

なお、検討の進捗は、随時、マイクロマシンセンターのホームページにて報告していきます。